

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003 年 7 月 22 日

2003 年 7 月 20 日現在：

前週に引き続き気温は平年を上回り、降雨は殆ど見られない 1 週間であった。北部地区の最高気温は高地で 90 度、低地では 100 度 F を越した。南西地区では 100～106 度 F であった。北部地区の高地で 0.03 インチの降雨が記録されたが、乾燥気象が全州を覆った。7 月 20 日に終わる 1 週間の州平均農作業日数は 6.9 日（前週：6.9 日）であった。州南部にてイナゴの被害が拡大している。高温・乾燥の為小麦の成熟は更に早まり、7 月 20 日現在、全州の春小麦の 32% が登熟期に入った（昨年：34%、平年：31%）。春小麦の進捗は平年より早まった。冬小麦は全州の 87% が登熟期に入った（昨年：59%、平年：70%）。冬小麦も急激に枯熟しており、全州の 5% で収穫が完了された。昨年並びに 5 年平均より早い進展となった。

7 月 1 日付け USDA の冬小麦生産量予想では別表の通り。単位収量は 6 月 1 日予想と変わらず 82.0 bushels/acre であったが、収穫面積が 6 月 1 日予想より 10,000 acres 増加した。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	28	40	32	0
Last week (%)	20	41	39	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	7	18	46	28	1

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring Wheat (%)	0	8	23	48	21
Winter Wheat (%)	0	4	20	53	23

小麦進捗状況：7 月 20 日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	7/20	A	Ave	7/20	A	Ave	7/20	A	Ave	7/20	A	Ave
Spring Wheat Headed (%)	88	97	88	100	100	100	100	100	99	94	96	89
Winter Wheat Harvested (%)	6	2	3	15	10	8	3	0	1	5	2	2

A:2002 年同期。 Ave:5 年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

次のページへ

7月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	June 1		
Idaho	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com